

【TPM入門セミナー】

(Total Productive Maintenance 全員参加の生産保全)

製造業を取り巻く経済環境が厳しくなり、企業が生き残るために徹底したムダの排除が要請され、高額な設備の故障停止などは絶対に許されなくなってきました。また、品質への要求が厳しくなり、一個の不良品も許されなくなったり、ニーズ多様化による多品種少量生産、短納期化の要求もますます強くなってきました。

そのため製造業では、モノづくりを阻害するあらゆるトラブルをロス(故障停止、段取・調整、空転、チョコ停など)と捉えて、ロスを徹底的に減らす改善活動や、そのロスの発生を未然に防ぐ保全活動が焦眉の急となっています。

そこで、“人(作業者・保全者・生産技術者など)と設備(既存・新規)の体質改善によって企業の体質改善”を図り、そして、メイクマナーを実現するマネジメント手法をであるTPMを学んでいただきます。

TPM導入をご検討中の皆様若しくは現場力の充実強化をお考えの皆様にお勧め致します。

開催日時 平成30年 6月13日(水) 9:30~17:00
講師 中小企業診断士 寺田正保氏
対象者 TPM導入予定・TPMについて初めから学びたい方
受講料 18,000円(テキスト代・昼食代・消費税込)
会場 (株)久喜菖蒲工業団地管理センター 研修室
申込期限 開催日の1週間前までお申し込みください。(各コース定員20名)

TPMの8本柱	設備効率化の個別改善
	オペレーターの自主保全体制づくり
	保全部門の計画保全体制づくり
	教育・訓練の体制づくり
	製品・設備開発管理体制づくり
	品質保全体制づくり
	管理・間接部門の効率化体制づくり
	安全・衛生と環境の管理体制づくり

午前 カリキュラム	1. TPM概論 1.1 TPM概論 1.2 TPMの生い立ち 1.3 TPMの特色 1.4 TPM展開の8本柱 1.5 TQCとTPMの特色比較 1.6 TPM展開プログラムの12ステップの概要	午後 カリキュラム	3. 自主保全の進め方 3.1 自主保全の展開 3.2 自主保全活動における運転と保全の役割 3.3 自主保全の展開を成功させる12のキーポイント 3.4 設備に強いオペレーター 3.5 教育と第4ステップの関係 3.6 自主保全診断
	2. 個別改善の考え方と進め方 2.1 設備の6大口ス 2.2 設備総合効率の計算方法 2.3 慢性ロスの考え方 2.4 設備効率化の基本的な考え方 2.5 故障ゼロの考え方と進め方 2.6 個別改善の進め方とPM分析 2.7 6大口ス改善のポイント		4. その他の活動 4.1 計画保全体制づくり 4.2 運転、保全のスキルアップ 4.3 初期管理の考え方と進め方 4.4 小集団活動とリーダーシップ 【質疑応答】

受講申込書

会社名・担当者名(部署)				住所・電話番号		
氏名	フリガナ	性別	年齢	所属役職名	備考	

問い合わせ

(株)久喜菖蒲工業団地管理センター 担当 長谷川

TEL:0480-22-8911 FAX:0480-23-5300 mail:hasegawa@kukishobu-ipwc.co.jp